



Title	北海道大学における研究データ管理に関するアンケート実施報告
Author(s)	結城, 憲司
Issue Date	2019-12-12
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/76314">http://hdl.handle.net/2115/76314</a>
Rights(URL)	<a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a>
Type	conference presentation
Note	2019/12/12(木) RDM部会企画セッション 発表資料; 大学ICT推進協議会(AXIES)2019年度年次大会. 2019/12/12(木)-14(土), 福岡国際会議場, 福岡市
Note(URL)	<a href="https://conf2019.axies.jp/">https://conf2019.axies.jp/</a>
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	20191212AXIES-RDM-Session_Report of Questionnaire on Research Data Management at Hokkaido University.pdf



[Instructions for use](#)

# 北海道大学における 研究データ管理 に関するアンケート 実施報告



2019/12/12 (木) AXIES年次大会 RDM部会企画セッション

北海道大学附属図書館研究支援課 結城 憲司

# アンケートの実施と周知

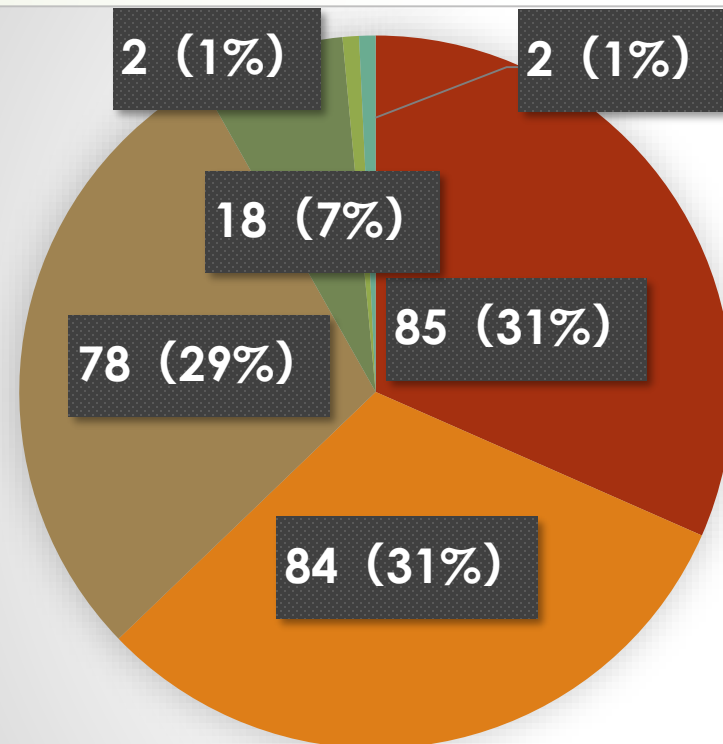
- 実施主体：情報基盤センターと附属図書館の共同実施  
(※研究担当理事と研究推進部の了解を得て実施)
- 実施期間：2019年11月11日～11月25日の**15日間**
- 対象：**全部局の教員**（2019名、2019年5月1日現在）
- 実施方法：**ウェブフォーム**による回答（LimeSurvey）
- 周知方法：
  - （情報基盤センター）部局庶務担当へメール通知、事務用グループウェアへの通知文書掲載
  - （図書館）部局図書担当への広報依頼メール、図書館公式サイト・図書館facebook・HUSCAP twitterに記事掲載

# アンケートの記名と設問

- ▶ 名前・連絡先の要否
  - ▶ **任意記入** ⇒ (図書館) 個別インタビュー調査に繋げる
  - ▶ 記名された方：回答者269名中の**96名**
- ▶ 設問数：AXIES-RDM部会雛形（10問）+図書館追加（1問）+情報基盤センター追加（2問）
  - ▶ 図書館追加（1問）
    - ▶ **これまでに収集・作成した研究データのうち、過去に公開していたが、現在は公開できなくなったものはありますか？**
  - ▶ 情報基盤センター追加（2問）
    - ▶ **北海道大学では、情報基盤センター「学際大規模計算機システム」のクラウドストレージサービスを研究資料（試料及び標本を除く）保存のために利用できることを知っていますか？**
    - ▶ **クラウドストレージサービスを利用してみたいですか？**

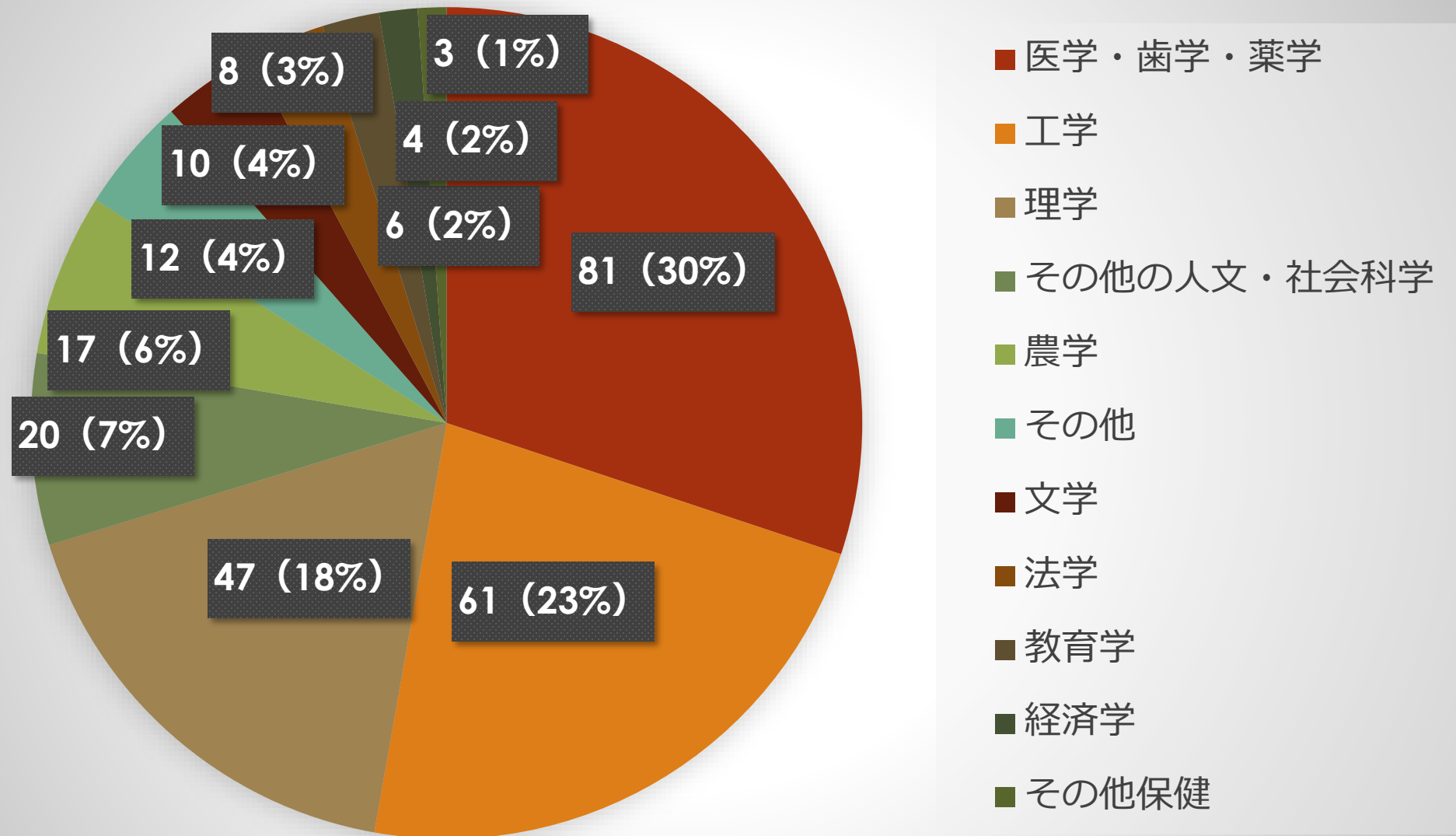
# 回答者数と職位別内訳

- 回答者数：**269名**（回答完了の有効回答）
- うち教員の回答数：**247名**（全部局教員の約**12.2%**）
- 職位別回答者内訳



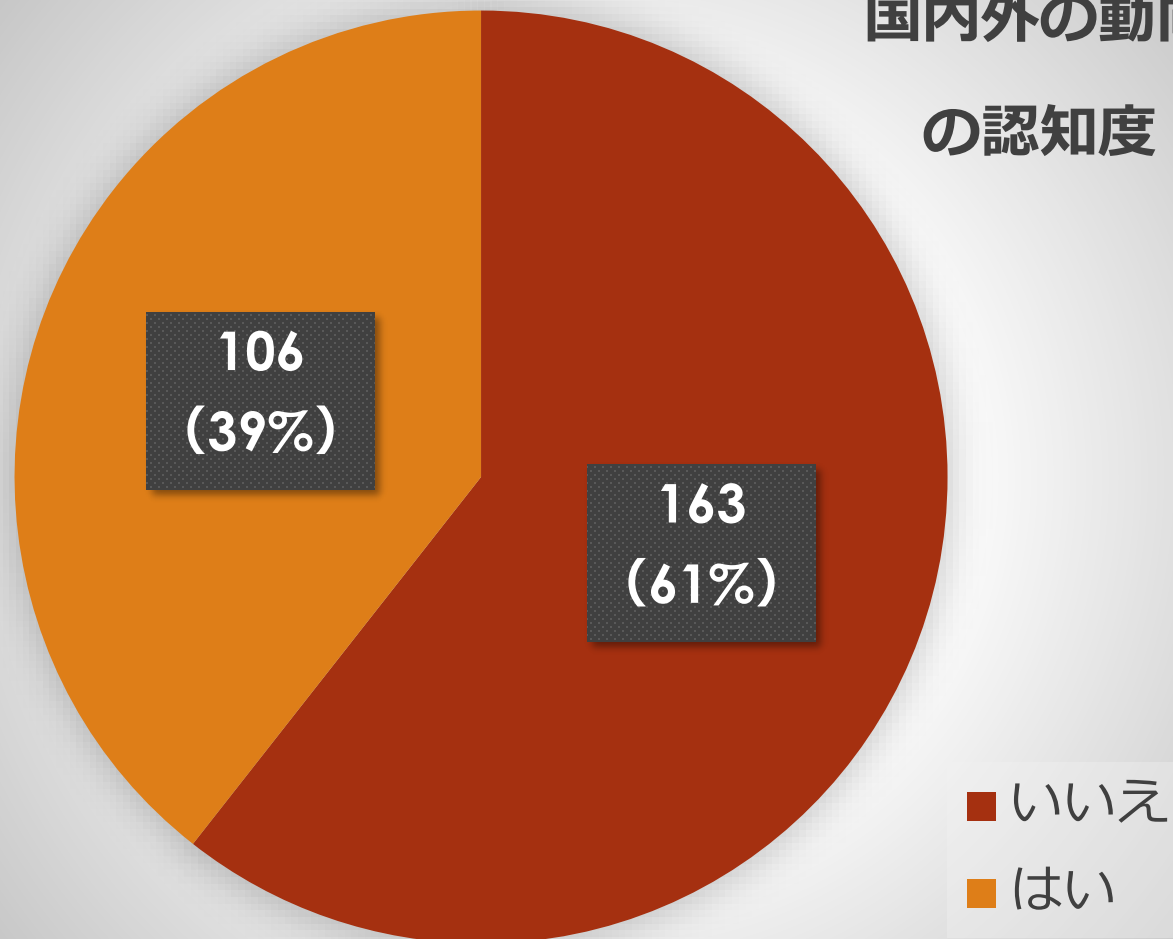
- 教授
- 助教/助手
- 准教授
- その他
- 博士前期課程院生
- 研究員（ポスドク、学振PD等）

# 分野別の回答者内訳

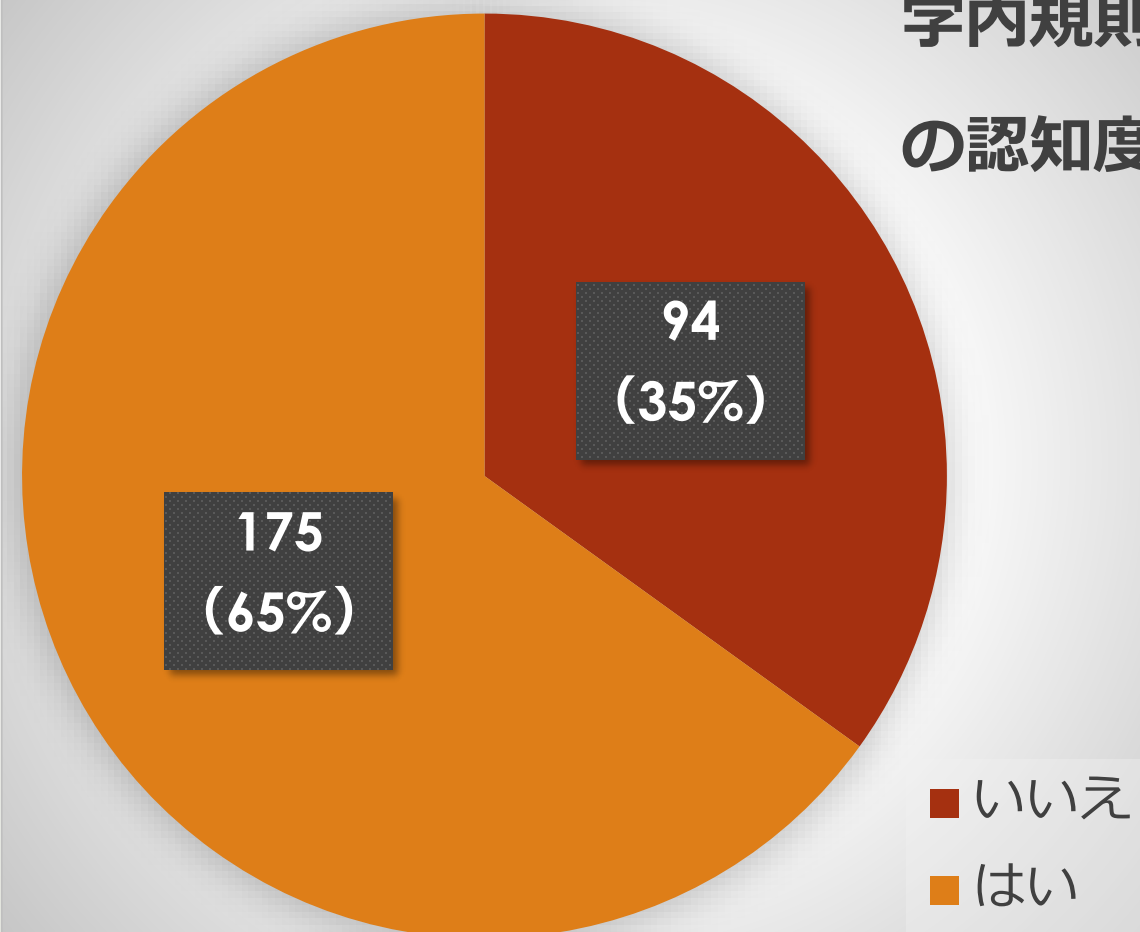


# 国内外の動向と学内規則の認知度

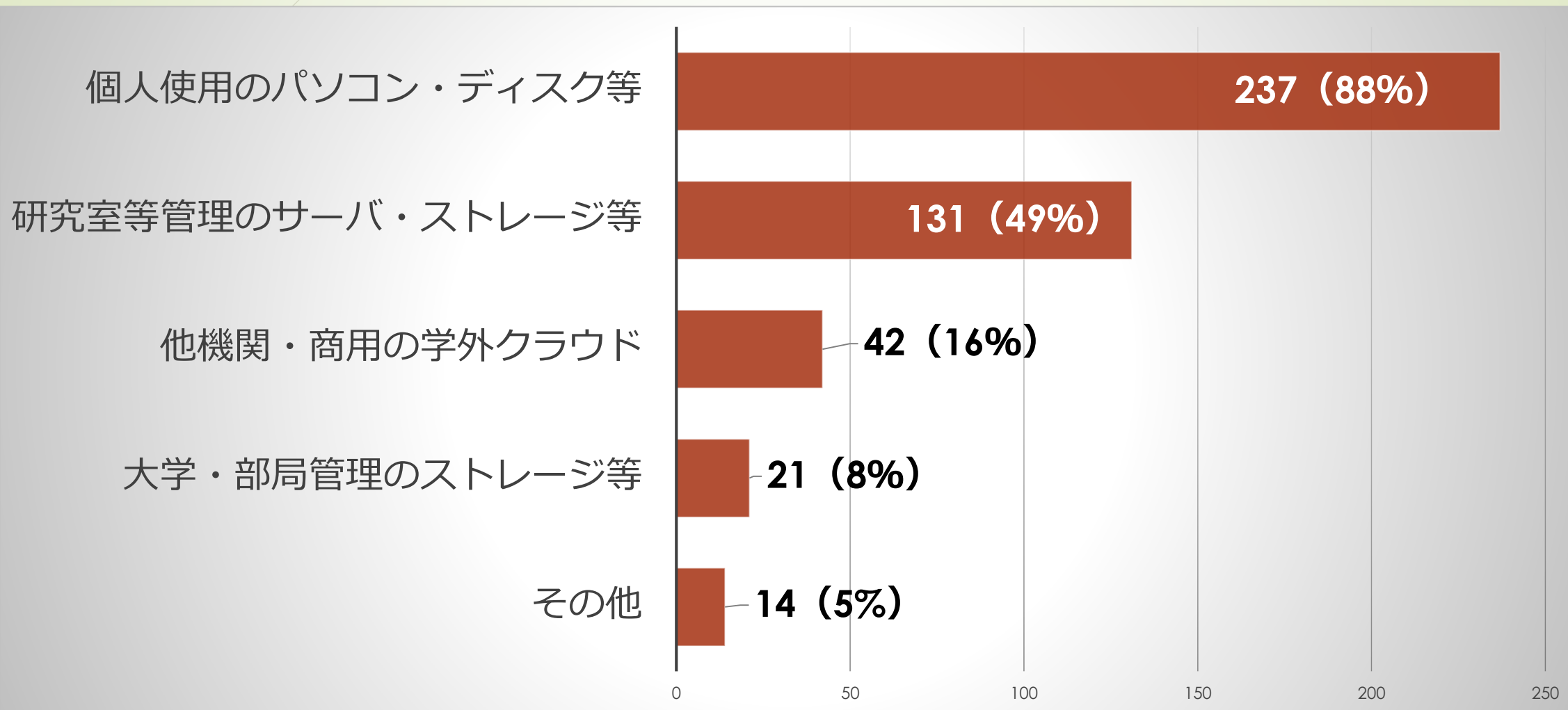
国内外の動向  
の認知度



学内規則  
の認知度



# 研究データの保管場所（複数選択可）

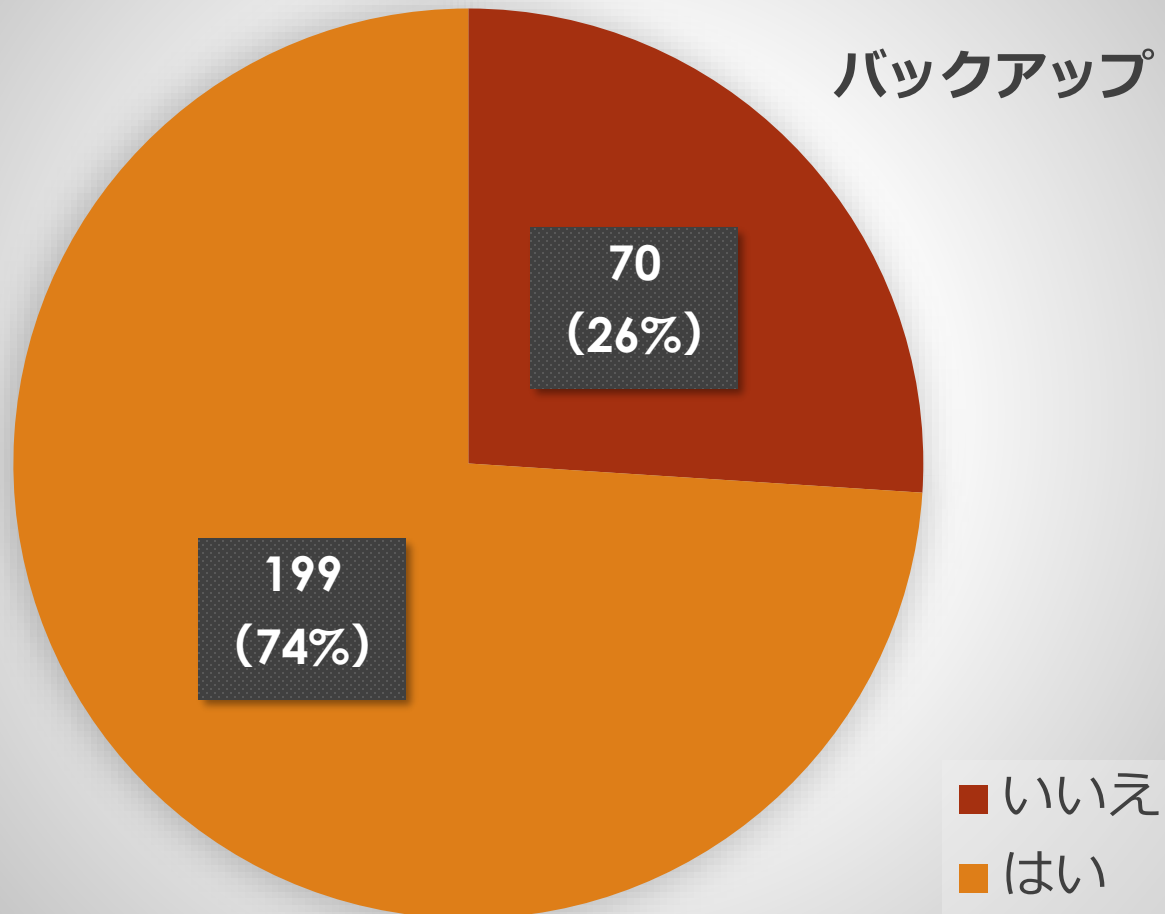


※パーセント表示は全体の回答数（269件）に対する割合

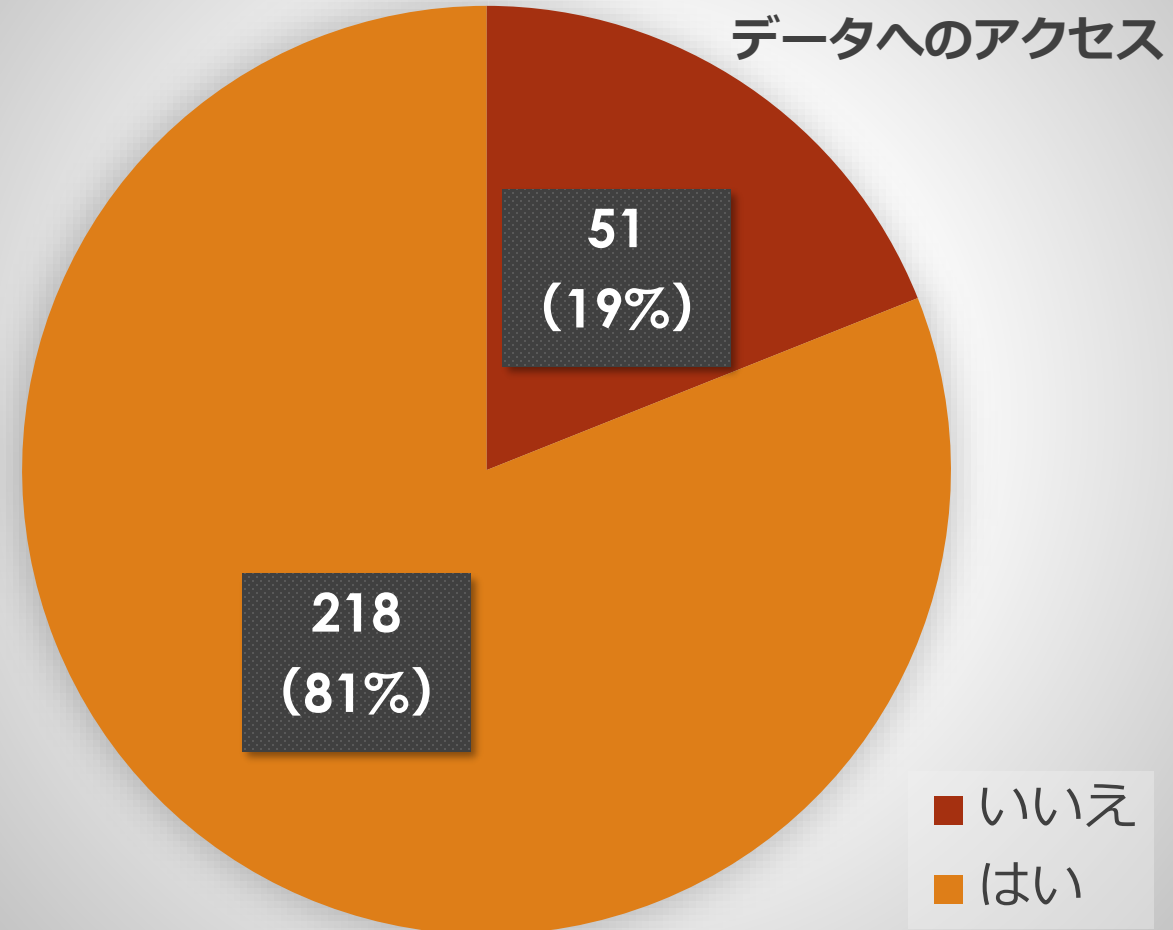


# バックアップと論文根拠データの管理

## 研究データの バックアップ

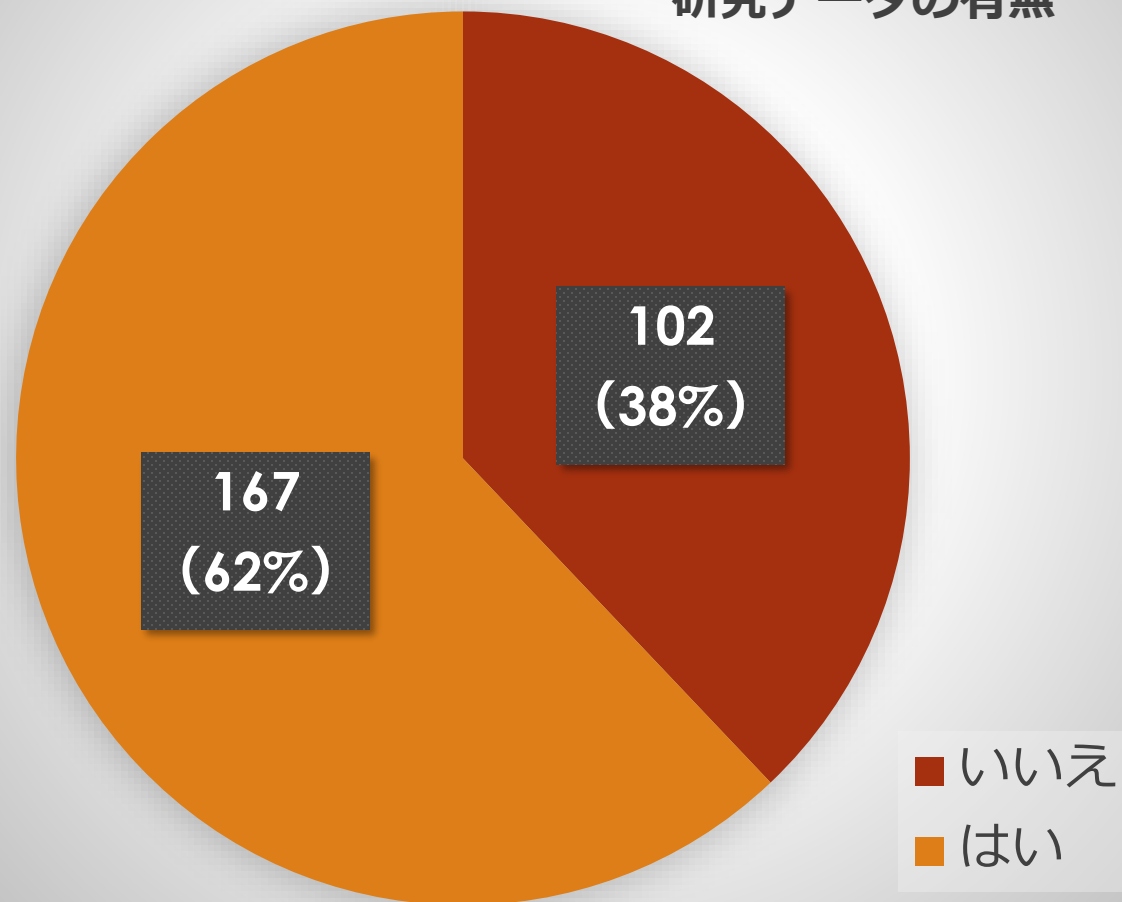


## 過去10年分の論文根拠 データへのアクセス

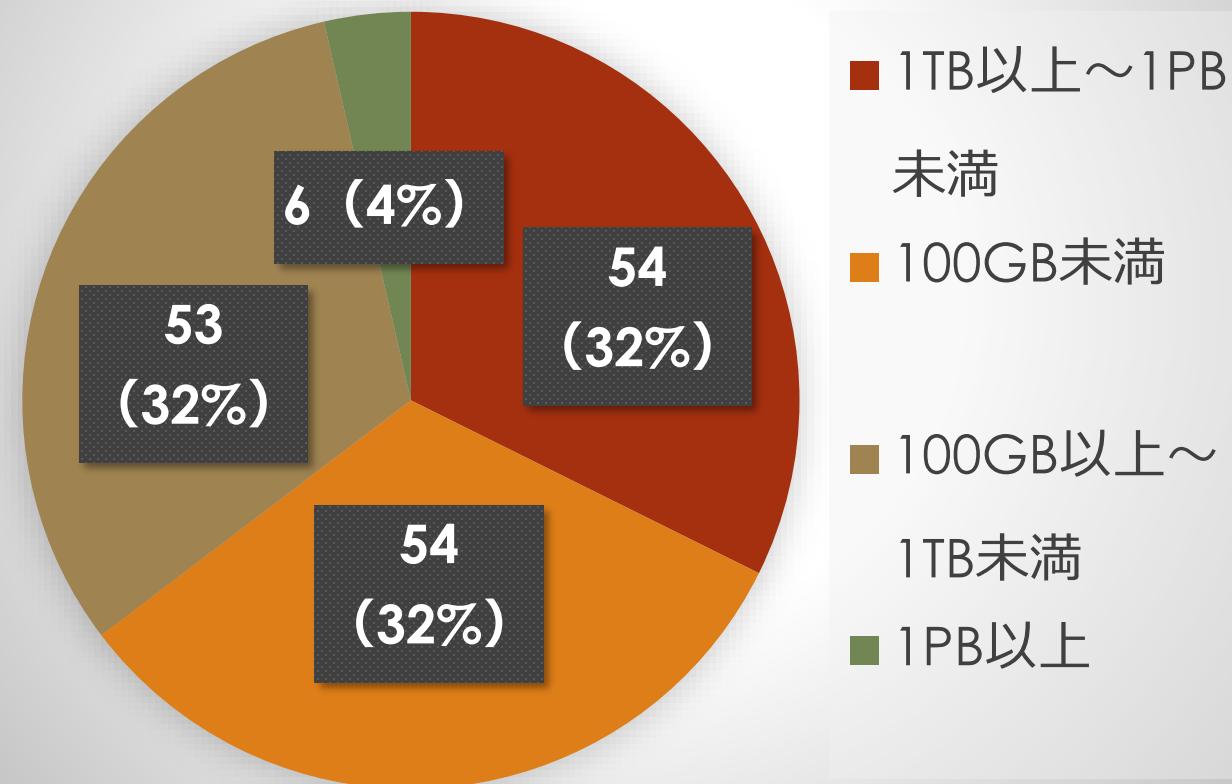


# 研究データ保管環境のニーズ

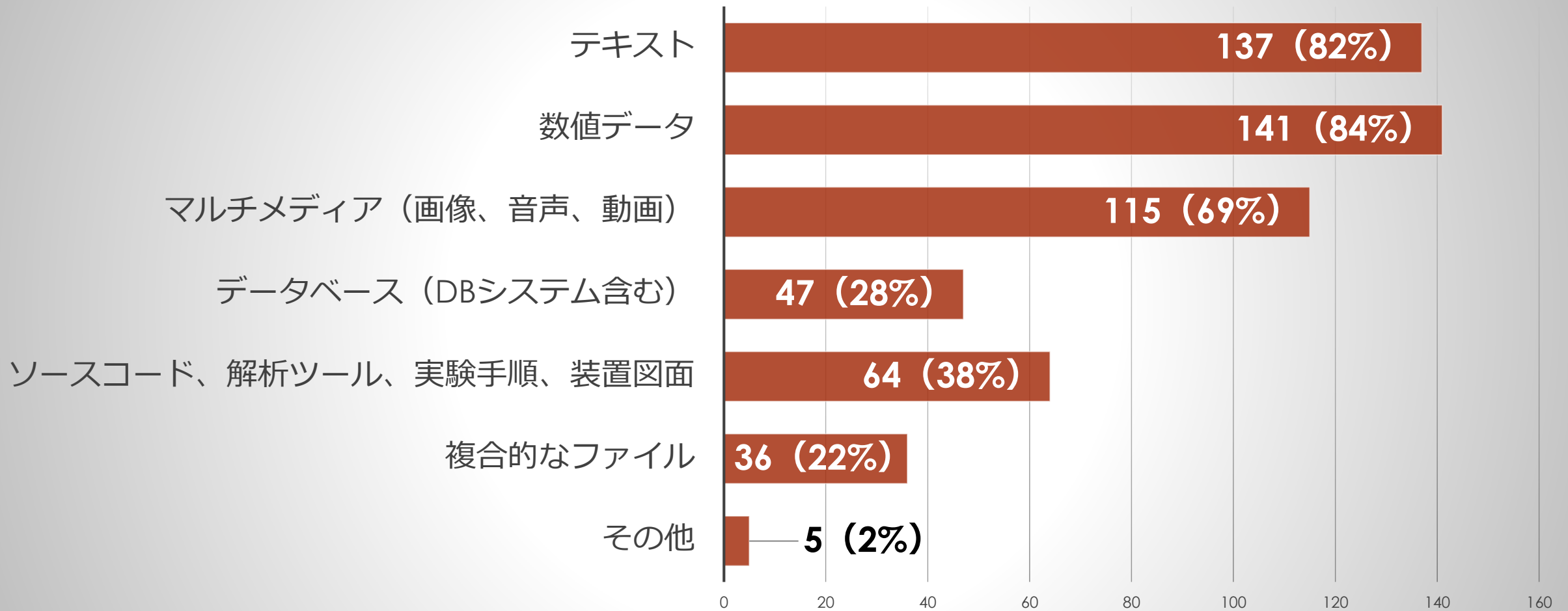
大学提供環境で保管したい  
研究データの有無



(あると答えた方)  
データの規模



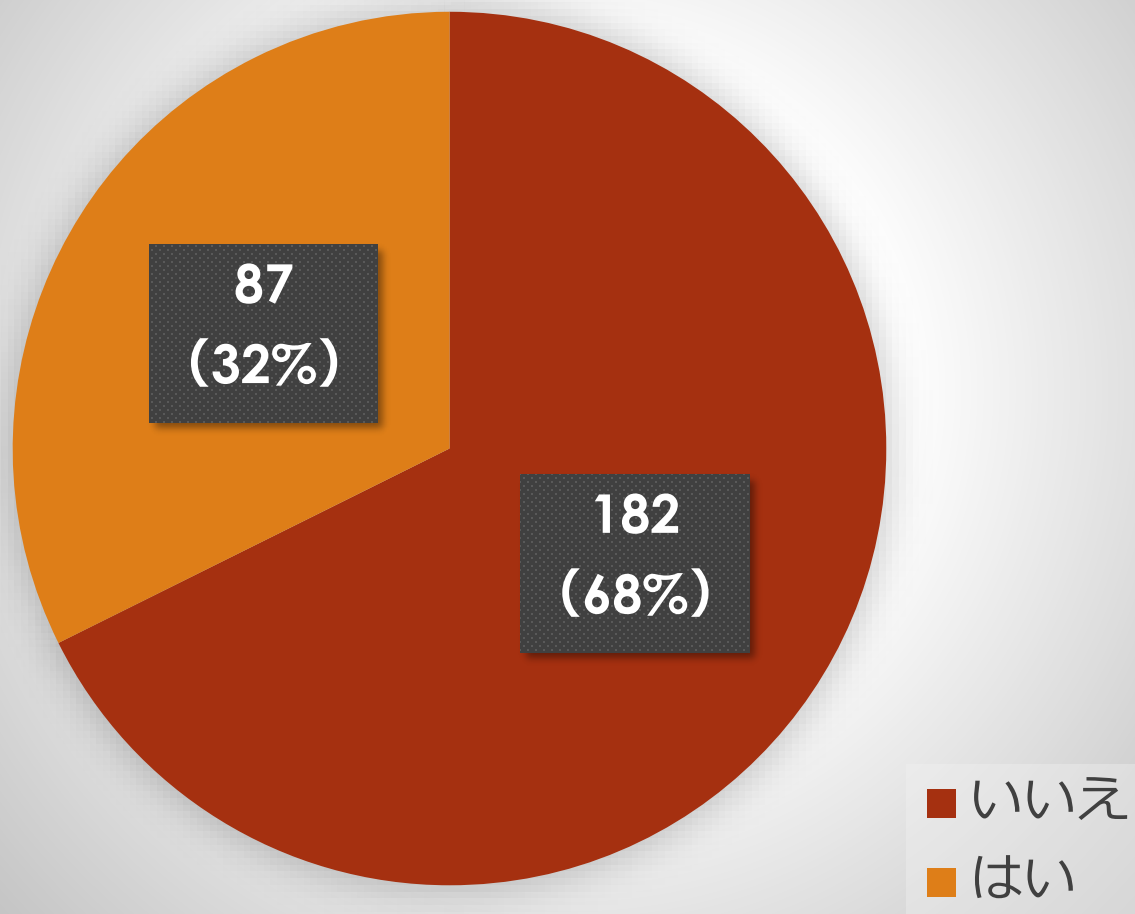
# 保管したい研究データのタイプ (複数選択可)



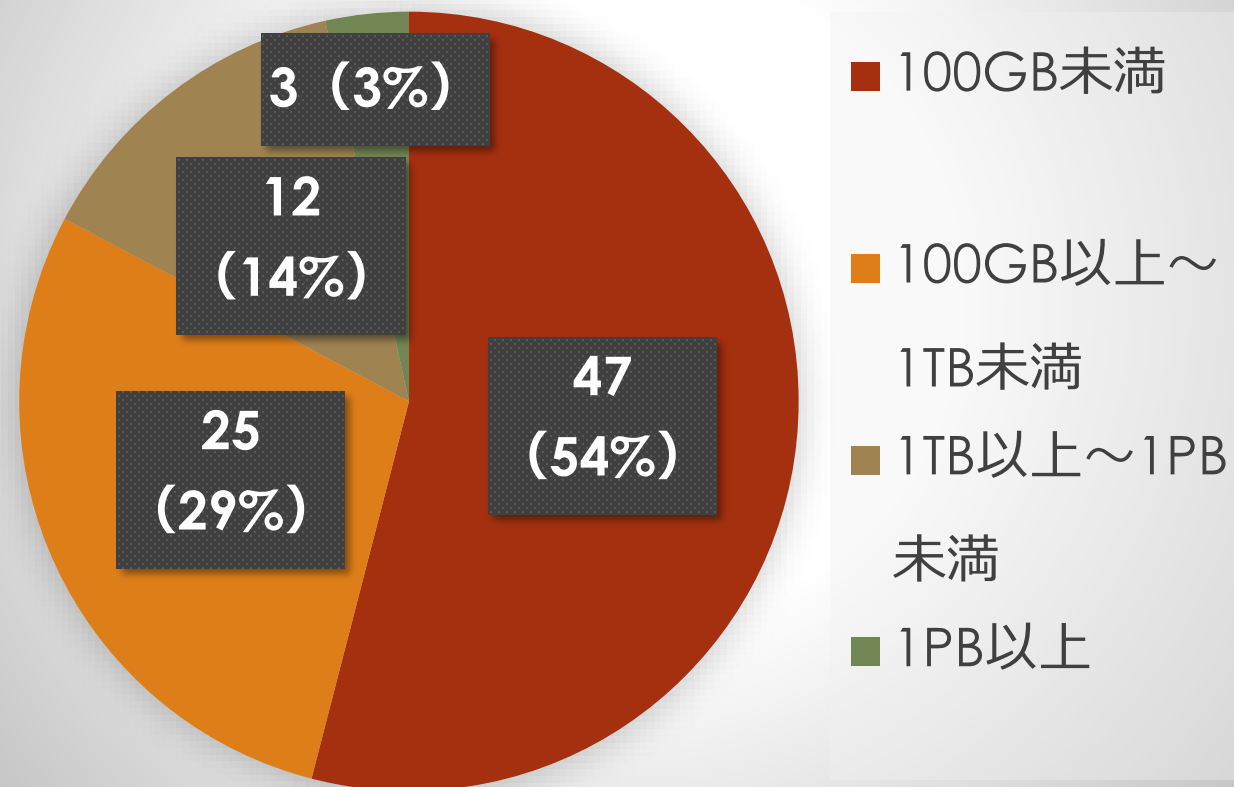
※パーセント表示は「保管したい研究データがある」と答えた回答 (167件) に対する割合

# 研究データ公開のニーズ

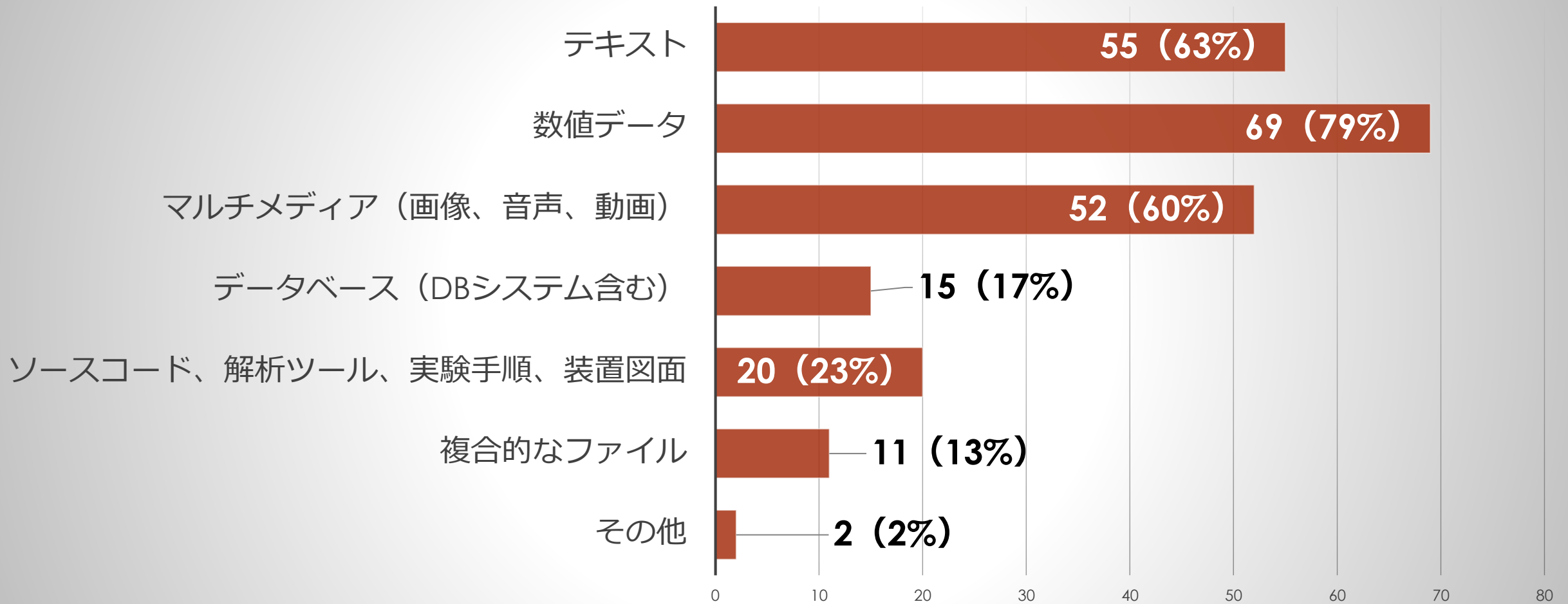
## 公開可能なデータの有無



## (あると答えた方) データの規模



# 公開可能な研究データのタイプ (複数選択可)

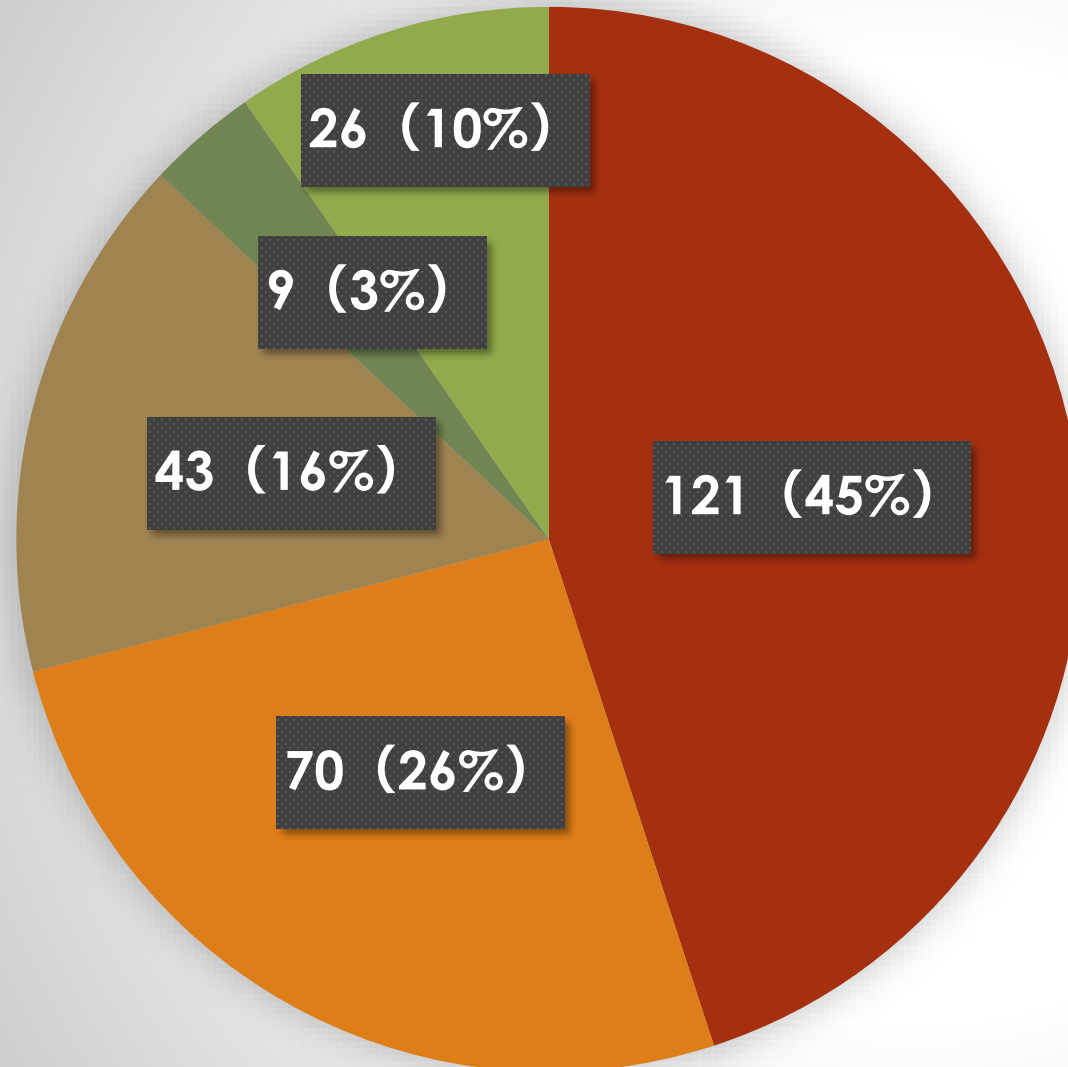


※パーセント表示は「公開可能なデータがある」と答えた回答 (87件) に対する割合

# 公開可能な研究データ例（自由記述）

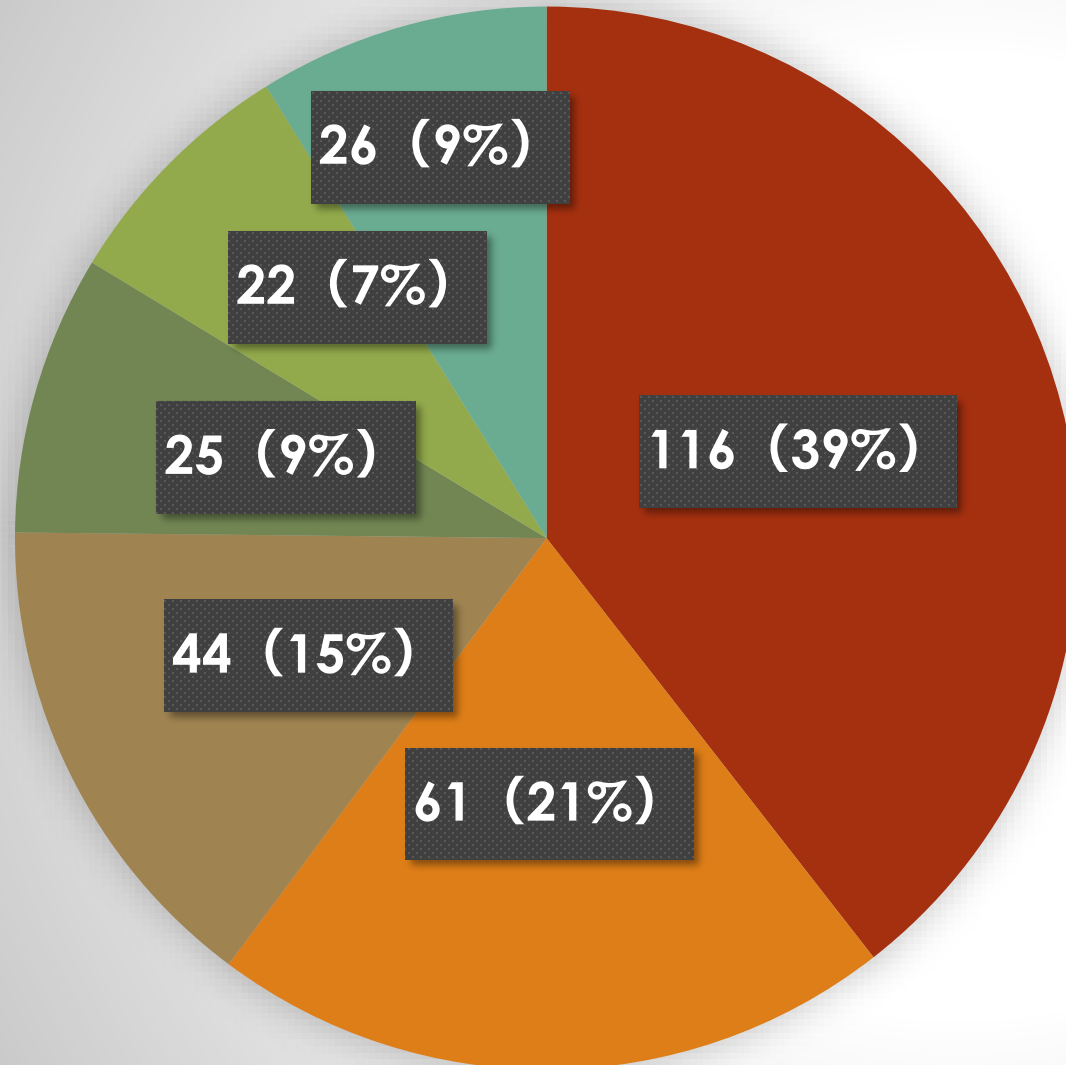
- ▶ 研究・論文に使用した実験データ・ソースコード・データファイル、過去の論文に使った計算結果、写真・グラフの数値データ、データ収集などを行うための回路図やプログラムソースファイル
- ▶ 臨床症例、臨床成績、臨床研究・検査データ、画像・画像所見データ、免疫モニタリングのデータ、蛍光免疫染色の画像データ、血管モデルの設計図、次世代シーケンサーのデータ（塩基配列情報）、DNAマイクロアレイ解析データ、遺伝子配列アライメント写真データ、未公開動物実験結果及び画像データ、動物実験後の組織、様々な生物のCT画像、脳の神経細胞の3D画像、光速度カメラで撮影した映像、フローサイトメトリーのデータ
- ▶ 3次元形状モデル、シミュレーションモデル、単結晶X線構造解析の生データ、熱分析データ、微細加工装置のプロセス条件、電磁波の時系列データ
- ▶ 海洋観測データ、気象データ、森林調査データ、地震・火山の観測データ、地震波形データ、河川流量データ、採集した動物プランクトン湿重量データ、航海観測で取得したデータおよび報告書
- ▶ テキストコーパス、言語モデル、研究テーマに関する新聞・雑誌記事目録、年表、古い文献からのテキストデータ、テキストテキストに出てきた語の分布を示した数値データ

# 大学が提供する環境での研究データ管理への期待（最も当てはまるものを選択）



- 研究データのバックアップが定期的に行われる。
- 異動・退職後も大学で研究データが保管される。
- 研究者間で研究データを共有しやすくなる。
- 研究データのバージョン管理が容易になる。
- その他

# 研究データ公開への期待 (最も当てはまるものを選択)

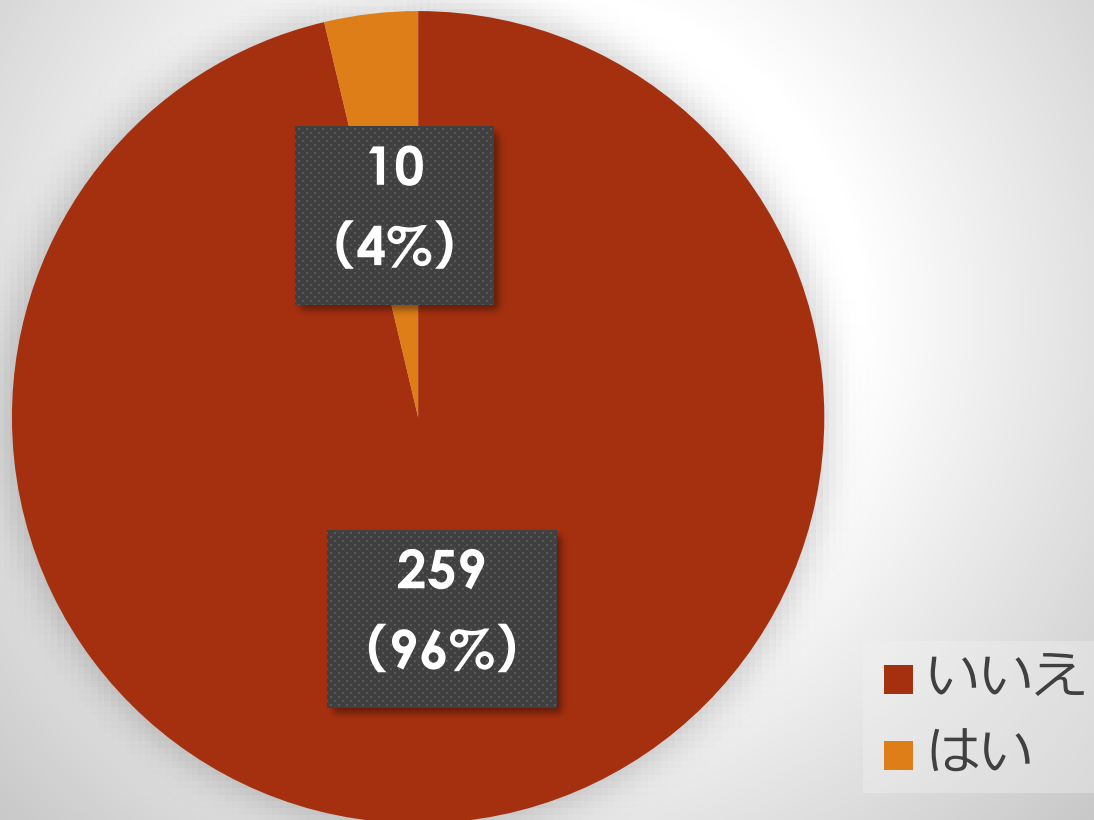


- 公開した研究データが他の論文から引用される。
- 異なる用途で利用されることで、研究データに新たな価値が付け加わる。
- 同一の研究データを使用する研究コミュニティが大きくなる。
- 研究データを公開することが大学や部局による個人評価につながる。
- 論文投稿のために研究データ公開が必要である。
- その他



# (参考) ※図書館追加設問 研究データ公開レスキューのニーズ

過去に公開していたが、  
現在公開していない研究データの有無



- ▶ オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）研究データ作業部会の「データベースレスキュー」の取組を意識した設問
- ▶ 具体的な研究データ内容
  - ▶ 血管モデルの設計図
  - ▶ 画像解析ソフトウェア